

GAPシンポジウム

[TOP](#)[開催概要](#)[プログラム](#)[参加申込](#)[アクセス](#)

「日本適正農業規範」(未定稿)の概要と検討
—日本農業のあるべき姿『規範』を求めて—

Information

2010/10/20

「2010年秋期GAPシンポジウム」は終了いたしました。たくさんのご来場をいただき、誠にありがとうございました。詳しい報告は、[普及ニュース第16号](#)をご覧ください。

2010/10/7

[プログラムを変更いたしました。](#)

2010/9/6

[参加申込を開始いたしました。](#)



開催：2010年10月19日（火）～20日（水）
会場：東京大学弥生講堂（東京大学農学部内）
主催：一般社団法人 日本生産者GAP協会
農業情報学会



大会事務局
〒305-0035 茨城県つくば市松代4-9-26-203
tel:029-861-4900 fax:029-856-0024
emai:mj@fagap.or.jp 担当:山藤(さんとう)

GAPシンポジウム



TOP	開催概要	プログラム	参加申込	アクセス
-----	------	-------	------	------

■2010年秋季 GAPシンポジウムの開催にあたって

自然環境の保全や農産物の安全性確保のためには、GAP(適切な農業の行為)が必要であるといわれ、様々なチェックリストが出回っています。そのために農林水産省は「GAPの共通基盤に関するガイドライン」を発表し、農家がGAPで取り組む事項に関連する法令等を明らかにしました。

しかし、農家の生産行為がGAPIになるためには、「～しなければならない」という「規制や制度」だけでなく、「なぜそうしなければならないのか」という「理由や理論」や、「どうすればそれができるのか」という「方法や手順」が提案されなければ、農家の現実的な行為や実践(Practice)にはなりません。

「なぜGAPが必要なのか」「農家のどこが問題なのか」「それはなぜ問題なのか」「それはどうすれば解決できるのか」などについて、詳細に解説した文書が「適正農業規範(Code of Good Agricultural Practice): GAP規範」です。

GAP規範は、GAPの実践者にとっても指導者にとっても、無くてはならないGAPの拠りどころ、正に「適正農業規範」なのです。

本シンポジウムでは、この度、全国の農業の専門家集団によって、日本で初めてまとめられた「GAP規範」を発表し、解説し、その内容について参加者とともに議論を深めて行きます。

■開催概要

期 日	2010年10月19日(火)～20日(水)
会 場	東京大学弥生講堂(東京大学農学部内) HP 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 TEL: 03-5841-8205
名 称	2010年秋季 GAPシンポジウム
テ ー マ	「日本適正農業規範」(未定稿)の概要と検討 ―日本農業のあるべき姿『規範』を求めて―
ねらい	日本に相応しいGAPを科学的に理解し、日本版「GAP規範」の考え方と概要を提示し、都道府県における適正農業規範の活用について論議する。
主 催	一般社団法人 日本生産者GAP協会 / 農業情報学会
共 催	東京大学大学院農学生命科学研究科 生態調和農学機構 / 財AGIC
事務局	一般社団法人日本生産者GAP協会 教育・広報委員会 / 財AGICシンポジウム事務局
来場対象	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、調査・研究機関、その他
参加費	(資料代) 《主催、共催団体の会員》¥10,000 《一般》¥15,000 《学生》受講無料(資料有料)

GAPシンポジウム



TOP	開催概要	プログラム	参加申込	アクセス
-----	------	-------	------	------

■プログラム:10月19日(火)

08:30～ 受付

09:30～ 開会

09:45～

主催者挨拶

二宮正士 (一社)日本生産者GAP協会 教育・広報委員会委員長、東京大学・生態調和農学機構副機構長

10:00～

基調講演 『日本の農業に相応しい「適正農業規範(GAP規範)」の考え方と概要』

田上隆一 (一社)日本生産者GAP協会理事長、㈱AGIC

10:40～

講演 『日本の適正農業規範(GAP規範)の解説・その1(序,1,2)』

山田正美 規範委員会委員長、前福井県農林水産部技幹

11:30～

講演 『日本の適正農業規範(GAP規範)の解説・その2(3)』

小池英彦 規範委員会委員 長野県農政部農業技術課専門技術員

12:00～ 昼休み(12:15～一般社団法人日本生産者GAP協会理事会)

13:00～

講演 『日本の適正農業規範(GAP規範)の解説・その3(5,7)』

佐々木茂明 規範委員会委員 和歌山県農業大学学校長

13:40～

講演 『日本の適正農業規範(GAP規範)の解説・その4(6)』

久保長政 福井県農林水産部食の安全安心課

14:10～

講演 『日本の適正農業規範(GAP規範)の解説・その5(4,8,9,10)』

田上隆多 規範委員会委員 ㈱AGIC GAP普及部長

14:50～ 休憩

15:10～

規範解題および 『規範委員とシンポジウム参加者との討論』

全体討議 司会:石谷孝佑 (一社)日本生産者GAP協会常務理事 元農水省農業研究センター作物生理品質部長

～16:45 終了

17:00～

情報交流会 『GAPに取り組む人たちの意見交換会』 会費3,000円

■プログラム:10月20日(水)

08:30～ 受付

09:30～

GAP規準解説 『「日本の適正農業規範(GAP規範)」に基づくGAP規準』

田上隆一 (一社)日本生産者GAP協会理事長

10:15～

事例報告 『普及指導員、営農指導員による農場改善とGAP管理』

ー地域の農業現場から見た日本の適正農業規範(GAP規範)の読み方と活用法ー

10:15～

事例1 『JAテラル越前ネギ部会の生産者262人全員で進めるGAP』

菅江弘子 福井県奥越農林総合事務所 農業経営支援部

10:50～

事例2 『酒米生産者と酒造メーカーとを繋ぐ新しい「価値創造のバリューチェーン」～JAのGAP管理システム～』

大澤信一 株式会社 日本総合研究所

11:25～

事例3	『「美味しなね認証」制度について』 牛尾博文 島根県農林水産部 食料安全推進課
12:00～	<u>昼休み</u>
13:15～	
事例4	『環境保全型農業技術とGAPの普及』 岡林俊宏 高知県農業振興部 環境農業推進課
13:50～	
事例5	『しずおか農水産物認証制度と県内におけるGAPの取組』 出雲秀明 静岡県経済産業部振興局 マーケティング推進課
14:25～	<u>休憩</u>
14:40～	
総合討論	『地域から見た日本版GAP規範の読み方と活用法』 【論点整理】 ・日本におけるクロスコンプライアンスとして期待される直接支払い ・全国レベルの適正農業規範と地域の規範の在り方と推進方法 ・普及支援制度を活用したGAP指導者の養成について ・GAP推進のための総合的な戦略 司会:田上隆一 (一社)日本生産者GAP協会 パネラー:事例報告者
～15:40	<u>終了</u>

※ 講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。